2025 年 5 月 13 日

取扱暗号資産概要説明書

一般社団法人日本暗号資産等取引業協会（JVCEA）が公表する「暗号資産概要説明書」を基に作成しています。情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

暗号資産の名称	ビットコイン
ティッカーコード	BTC、XBT
暗号資産の単位	0.00000001 BTC
発行者	なし
発行主体概要	不特定の保有・移転管理台帳記録者による発行プログラムの集団・共有管理
発行方法	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算及び価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
発行可能上限額	約 2,100 万 BTC
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算及び価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
保有・移転記録の秘匿性	ハッシュ関数（SHA-256、RIPEMD-160）、楕円曲線公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of work コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、一定の計算量を実現したことが確認できた記録者を管理者と認めることで分散台帳内の新規取引を記録者全員が承認する方法。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	イーサ（イーサリアム）
ティッカーコード	ETH
暗号資産の単位	0.00000001 ETH
発行者	Ethereum Foundation
発行主体概要	不特定の保有・移転管理台帳記録者による発行プログラムの集団・共有管理
発行方法	初期発行と、分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算及び価値記録を行う記録者への対価・代償としてプログラムにより自動発行
発行可能上限額	未確定
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算及び価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産。 分散型アプリケーションが動作する実行環境の役割を果たす特徴を持つ。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	イーサリアムクラシック
ティッカーコード	ETC
暗号資産の単位	0.00000001 ETC
発行者	なし
発行主体概要	不特定の保有・移転管理台帳記録者による発行プログラムの集団・共有管理
発行方法	初期発行と、分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算及び価値記録を行う記録者への対価・代償としてプログラムにより自動発行
発行可能上限額	未確定
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算及び価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産。 分散型アプリケーションが動作する実行環境の役割を果たす特徴を持つ。
保有・移転記録の秘匿性	秘密鍵と公開鍵を用いた暗号化技術により、利用者本人が発信した移転データと特定し、記帳する。
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of work コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、一定の計算量を実現したことが確認できた記録者を管理者と認めることで分散台帳内の新規取引を記録者全員が承認する方法。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	ライトコイン
ティッカーコード	LTC
暗号資産の単位	0.00000001 LTC
発行者	なし
発行主体概要	不特定の保有・移転管理台帳記録者による発行プログラムの集団・共有管理
発行方法	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算及び価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
発行可能上限額	8,400 万 LTC
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算及び価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
保有・移転記録の秘匿性	Scrypt アルゴリズムを用いたプルーフオブワーク
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of work Scrypt アルゴリズムを用いたプルーフオブワークの仕組みにより、Litecoin ブロックチェーンの維持管理に参加する者が、ブロック生成に必要な、およそ 90 秒間隔で発見可能な難易度に調整され、かつ完全に確率的で計算コストの掛かる特定のナンス(nonce)を見つけ、Litecoin ネットワークに対し伝播することをもって、維持管理参加者が指定するアドレスに対してプロトコルから付与される。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。

暗号資産の名称	ビットコインキャッシュ
ティッカーコード	BCH
暗号資産の単位	0.00000001 BCH
発行者	なし
発行主体概要	不特定の保有・移転管理台帳記録者による発行プログラムの集団・共有管理
発行方法	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算及び価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
発行可能上限額	2,100 万 BCH
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算及び価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
保有・移転記録の秘匿性	ハッシュ関数（SHA-256、RIPEMD-160）、楕円曲線公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of work コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、一定の計算量を実現したことが確認できた記録者を管理者と認めることで分散台帳内の新規取引を記録者全員が承認する方法。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。

暗号資産の名称	モナコイン
ティッカーコード	MONA
暗号資産の単位	0.00000001 MONA
発行者	なし
発行主体概要	不特定の保有・移転管理台帳記録者による発行プログラムの集団・共有管理
発行方法	初期発行と、分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算及び価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
発行可能上限額	10,512 万 MONA
一般的な性格	日本及び世界で有名なアスキーアート「モナー」をモチーフにした日本初の暗号通貨になり、非中央集権によるクライアントプログラムによって維持される完全分散型決済システムを基盤とした暗号通貨。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of work コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、一定の計算量を実現したことが確認できた記録者を管理者と認めることで分散台帳内の新規取引を記録者全員が承認する方法。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	エックスアールピー（XRP）
ティッカーコード	XRP
暗号資産の単位	0.000001 XRP
発行者	Ripple Labs Inc.
発行主体概要	Ripple Labs Inc.
発行方法	2012 年のネットワーク発足時に全て発行済み
発行可能上限額	1,000 億 XRP
一般的な性格	エックスアールピー（XRP）は金融機関の送金において法定通貨間のブリッジ通貨としてオンデマンドの流動性を提供する役割を有している。これによって金融機関は従来よりも格段に流動性コストを下げつつも送金先のリーチをグローバルに広げることができる。また、XRP は Ripple Consensus Ledger 上での取引における取引料としての性格も有している。ネットワークへの攻撃が起こった時には手数料が自動的に釣り上げられるため、攻撃が未然に防げる仕組みとなっている。XRP は 3～5 秒ごとにファイナリティをもって決済を行うことができ、1 秒につき 1000 の取引を決済できるスケーラビリティを有する構造となっている。
保有・移転記録の秘匿性	取引は ED25519 and SECP256K1 によって暗号署名が行われ、ハッシュには SHA512 half が使われる。さらに、Multi-sign 機能によって高度のセキュリティを可能としている。
F	Ripple Consensus Ledger(RCL)はビザンチン将軍問題を解決する独自のコンセンサスアルゴリズムを採用し、Proof-of-Work よりもより速くかつ効率的に取引を承認することができる。信頼される認証済み法人バリデーター（検証者）が取引についての投票を行い、80%以上の合意が得られた取引については承認を行う。RCL では決済が 3～5 秒ごとに実行され、1 秒につき 1,000 の取引まで対応できるスケーラビリティを有する。
価値移転認証の仕組み	独自のコンセンサスアルゴリズムに基づく。3～5 秒ごとにバリデーターが台帳における新たな取引について投票を行い、80%以上の合意を得た取引が承認されたとみなされ、パブリックな台帳に記録される。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	健全なネットワークを保全する動機を有する認証済法人バリデーターによって取引が承認される仕組みを有している。またネットワークの攻撃に対して自動的に取引手数料が釣り上がる仕組みを有しており、攻撃を未然に防ぐことができる。
記録者の信用力に関する説明	パブリックな台帳ネットワークを保持する動機がある、確認・証明済みの法人がバリデーター（検証者）になっている。そのうち、トップのバリデーター運用のパフォーマンスを示した複数のバリデーターのみが Unique Node List（UNL）という推奨リストに追加され、ネットワークのノードによって参照される。そのため個々の記録者の信用は必要としない仕組みになっている。

暗号資産の名称	ベーシックアテンショントークン
ティッカーコード	BAT
暗号資産の単位	0.00000001 BAT
発行者	Brave Software, Inc.
発行主体概要	ベーシックアテンショントークンを利用したウェブブラウザ Brave を運営、開発している。
発行方法	初期発行のみ
発行可能上限額	15 億 BAT
一般的な性格	2017 年に ICO で初めて発行された。ベーシックアテンショントークンは分散型広告システムで利用されるトークンであり、それによって従来のシステムの仲介者を排除してユーザーの利便性を高めることができる。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者 全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、保有している 基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	ステラルーメン
ティッカーコード	XLM
暗号資産の単位	0.0000001XLM
発行者	ステラ開発財団
発行主体概要	ステラ開発財団
発行方法	ICO、プログラムによる自動発行、プロジェクトへのエアドロップ
発行可能上限額	500 億 XLM
一般的な性格	一般人、中小企業、中小金融機関の間で直接的に資金を移動可能なプラットフォームを利用するための暗号資産。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Stellar Consensus Protocol
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	バリデーター（検証者）が取引についての投票を行い、合意が得られた取引については承認を行う事により信頼性を確保する
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	ネム
ティッカーコード	XEM
暗号資産の単位	0.000001 XEM
発行者	なし
発行主体概要	なし
発行方法	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算及び価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
発行可能上限額	8,999,999,999 XEM
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算及び価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Importance コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、保有している基軸暗号資産の量及び取引量に応じて採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び Eigentrust ++ によるノードの過去動作を監視した評価軸とノードの計算作業量をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	ネットワーク内における参加ノード間でトランザクションが共有・検証され、不正なトランザクションは除外され、また不正なトランザクションを送信するノードの評価を下げることで、ネットワーク内の健全性と信用を保つことを基礎としている。

暗号資産の名称	テゾス
ティッカーコード	XTZ
暗号資産の単位	0.000001 XTZ
発行者	Tezos Foundation
発行主体概要	Tezos プラットフォームに関する研究、開発、情報の提供及びコンサルティング等を行う団体。
発行方法	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、ブロック生成を行う記録者への対価・代償としてプログラムにより自動発行。
発行可能上限額	なし
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び当該ネットワークの暗号通貨を多量に保有する人に傾斜的に付与された投票権を使用して選出された記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	ネットワーク内における参加ノード間でトランザクションが共有・検証され、不正なトランザクションは除外され、また不正なトランザクションを送信するノードの評価を下げることで、ネットワーク内の健全性と信用を保つことを基礎としている。

暗号資産の名称	ポルカドット
ティッカーコード	DOT
暗号資産の単位	0.0000000001 DOT
発行者	Web3 Foundation
発行主体概要	分散型ウェブの構築に関する研究、開発、情報の提供及びコンサルティング等を行う団体。
発行方法	ICO、プログラムによる自動発行
発行可能上限額	10 億 DOT
一般的な性格	ポルカドットは、複数の異なるブロックチェーン間を相互接続可能にするブロックチェーンプロジェクト。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Nominated Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つ。投票によって取引の承認を委任する承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び当該ネットワークの暗号通貨を多量に保有する人から選出された記録者により移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	ネットワーク内における参加ノード間でトランザクションが共有・検証され、不正を行うノードに罰則を科すことで、ネットワーク内の健全性と信用を保つことを基礎としている。

暗号資産の名称	チェーンリンク
ティッカーコード	LINK
暗号資産の単位	0.000000000000000001 LINK
発行者	SmartContract
発行主体概要	チェーンリンクの構築に関する研究、開発等を行う団体。
発行方法	ICO、プログラムによる自動発行
発行可能上限額	10 億 LINK
一般的な性格	外部データとイーサリアムブロックチェーン上のスマートコントラクトを接続する機能を有する分散型サービス。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	ネットワーク内における参加ノード間でトランザクションが共有・検証され、不正を行うノードに罰則を科すことで、ネットワーク内の健全性と信用を保つことを基礎としている。

暗号資産の名称	シンボル（Symbol）
ティッカーコード	XYM
暗号資産の単位	0.000001 XYM
発行者	なし
発行主体概要	なし
発行方法	約 78 億 XYM が Symbol ブロックチェーンのローンチに際して行われたスナップショット時の XEM 保有者に割り当て、残りの約 12 億 XYM はプログラムによる自動発行
発行可能上限額	8,999,999,999 XYM
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算及び価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	POS＋（Proof of Stake Plus） XYM の記録保管にかかるコンセンサス・アルゴリズムにはビザンチン障害耐性のある POS＋が使われている
価値移転認証の仕組み	台帳形式。ネットワークへの貢献について一定要件を満たした記録者が、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）によるノードの過去動作を監視した評価軸とノードの計算作業量をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する
記録者の信用力に関する説明	1 万 XYM 以上を保有する記録者であればハーベスティングに参加可能であり、かつ重要度スコアは保有額だけでは定義されない。したがって、より積極的にネットワークに貢献するノードほどハーベスティングを行う機会を得るという、公正なネットワークを構築することが可能と考えられる

暗号資産の名称	ポリゴン（Polygon）
ティッカーコード	MATIC
暗号資産の単位	0.00000001 MATIC
発行者	Polygon
発行主体概要	イーサリアムのスケーリング（利用拡大）に際し発生している問題の解決を目指すために開発等を行う団体。
発行方法	IEO、プログラムによる自動発行
発行可能上限額	100 億 MATIC
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算及び価値記録を行う記録者への対価・代償やネットワークの運用や開発方針の合意を行うための投票などで使用される暗号資産
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多く長期間であるほどブロック生成（承認）の成功確率が上昇する承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び当該ネットワークの暗号通貨を多量に保有する人や保有期間の長い人に傾斜的に付与された投票権を使用して選出された記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	ネットワーク内における参加ノード間でトランザクションが共有・検証され、不正を行うノードに罰則を科すことで、ネットワーク内の健全性と信用を保つことを基礎としている。

暗号資産の名称	メイカー
ティッカーコード	MKR
暗号資産の単位	0.00000001 MKR
発行者	Maker Foundation
発行主体概要	Maker Foundation は、Maker プロトコルの長期的な安全性及び持続可能性の確保を行い、プロトコルの分散化を目的に設立された。同社はいずれ解散する予定であり、ソフトウェア開発インフラの一部など、特定のウェブ・プロパティの管理権を、Maker ガバナンスで承認された DAO のコアユニットへ移行することを目指している。実態としての Maker Foundation は、ケイマン諸島の財団会社である Maker Ecosystem Growth Foundation（MEGF）の下で保証有限責任会社として保持されている。
発行方法	Ethereum ブロックチェーン上で発行
発行可能上限額	1,005,577 MKR
一般的な性格	MakerDAO は Ethereum ブロックチェーン上に構築された自律分散型組織である。このプロジェクトは、ガバナンストークンである MKR を保有する世界中のユーザーによって管理されており、エグゼクティブ投票やガバナンス投票などのガバナンスシステムを通して、MKR 保有者は Maker プロトコルと DAI（米ドルにソフトペグした暗号資産）の金融リスクを管理し、その安定性、透明性及び効率性を確保している。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	ジパングコイン（Zipangcoin）
ティッカーコード	ZPG
暗号資産の単位	0.0001 ZPG
発行者	三井物産デジタルコモディティーズ株式会社
発行主体概要	三井物産株式会社の 100％子会社であり、暗号資産発行事業を営むために設立された。
発行方法	会員受託分が、都度発行者より発行される
発行可能上限額	390 億円相当量
一般的な性格	分散型の価値保有・移転の台帳（ブロックチェーン）上で発行され、データとして記録される。状況に応じて追加発行される。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	BFK2 記録者の全ノードのうち多数（2/3 以上）のノードの合意形成により、価値移転を記録、全ノードにてその合意に基づく分散台帳記録を保管。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	価値移転のためのネットワークにつき、アクセスが許可されたもののみ参加できる構成とし、信頼性の担保を図る。
記録者の信用力に関する説明	ブロックチェーン運営組織における全構成員の合意により記録がなされることから、記録保持の仕組みそのものを記録者の信用の基礎としている。

暗号資産の名称	フレア（Flare）
ティッカーコード	FLR
暗号資産の単位	0.000001 FLR
発行者	Flare Networks Limited
発行主体概要	Flare Networks Limited は、新たなブロックチェーンネットワークの開発を行う営利企業。
発行方法	メインネットローンチ時に、プログラムによる自動発行
発行可能上限額	1,000 億 FLR
一般的な性格	分散型の価値保有・移転の台帳（ブロックチェーン）上で発行され、データとして記録される。状況に応じて追加発行される。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Federated Byzantine Agreement（FBA）は合意に参加する参加者それぞれの信頼に基づくクォーラムと呼ばれる部分ネットワークを形成する P2P 向けのコンセンサス機構であり、従来のビザンチン合意（BA）機構と比べ、ノードの参加が自由である大きな特徴となっている。
価値移転認証の仕組み	FBA では、ノードは完全に独立した意思決定者としてトランザクションを引き受け、そのトランザクションの承認または非承認を決定後、ネットワークの他のノードがこの決定に同意可否の投票を行い、クォーラム（必要な最低限の投票数）に達すると価値移転認証が行われる。また、ノードのネットワーク障害を懸念して、各種ノードは事前に Unique Node List（UNL）と呼ばれる、コンセンサスのために依存するノードを決定している。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	ノードとして誰でも簡単に参加することができ、完全に独立した意思決定者として価値移転認証を行うことができる。
記録者の信用力に関する説明	記録者はネットワーク要件を満たすことで誰でも参加することができ、記録者自身が独立した意思決定者としてトランザクションの価値移転を行うことができる。

暗号資産の名称	シバイヌ（Shiba Inu）
ティッカーコード	SHIB
暗号資産の単位	0.00000001 SHIB
発行者	なし
発行主体概要	なし （Ryoshi という匿名開発者によって発行され、以降は不特定の保有者により集団運営される）
発行方法	Ethereum ブロックチェーン上で発行
発行可能上限額	9,999,910 億 SHIB
一般的な性格	NFT 発行、メタバース構築、Layer2 開発等の運用が行われており、ガバナンス投票権としての利用、Dapps 内での決済、送金手段等の多岐にわたるユースケースがある。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	パレットトークン（Palette Token）
ティッカーコード	PLT
暗号資産の単位	0.00000001 PLT
発行者	株式会社 HashPalette
発行主体概要	株式会社 HashPalette は、マンガを中心とした電子書籍分野においてリードしている株式会社 Link-U と、ブロックチェーン関連分野で実績を有する株式会社 HashPort が共同で 2020 年 3 月 2 日にジョイントベンチャーとして設立された。
発行方法	IEO、Ethereum ブロックチェーン上で発行
発行可能上限額	10 億 PLT
一般的な性格	PLT は NFT の決済に使用されるだけではなく、NFT を安定して発行・流通するためのシステム利用手数料の支払い通貨としても機能する。また、ユーザーによる投票制度などを通じてパレットエコシステム全体の健全な成長を促すためにも利用される。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	ザ・サンドボックス（The Sandbox）
ティッカーコード	SAND
暗号資産の単位	0.00000001 SAND
発行者	TSBMV Global Limited
発行主体概要	発行主体である TSBMV Global Limited は、仮想空間上のゲームプラットフォーム The Sandbox を提供しており、プラットフォームにおける通貨として SAND を発行している。
発行方法	Ethereum ブロックチェーン上で発行
発行可能上限額	30 億 SAND
一般的な性格	The Sandbox というメタバースプラットフォーム内の基軸通貨としての利用や、ステーキング、クリエイターインキュベーションなどに利用されている。 プラットフォームが提供する専用ツールを使用することで誰でも比較的容易にアバターやデジタルグッズを生成でき、同プラットフォーム上に展開するマーケットプレイスで取引する事も可能。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	ディセントララランド（Decentraland）
ティッカーコード	MANA
暗号資産の単位	0.00000001 MANA
発行者	Decentraland Foundation
発行主体概要	2015 年、ディセントララランドファウンデーションは Ari Meilich 氏と Esteban Ordano 氏の手により 2D プラットフォームとして誕生した。その後、VR（バーチャルリアリティ）とブロックチェーン技術を組み合わせた仮想空間プラットフォームとして進化を遂げ、メタバースと呼ばれる共有仮想世界をサポートするインフラストラクチャを提供する。
発行方法	Ethereum ブロックチェーン上で発行
発行可能上限額	21.9 億 MANA
一般的な性格	ディセントララランドは仮想空間（メタバース）の分散型プラットフォームです。プラットフォーム内では暗号資産 MANA を使用して LAND と呼ばれる仮想空間上の土地の取引が可能です。LAND 上ではユーザーが自由にコンテンツを作成でき、他のユーザーと交流することも可能です。また、分散型自立組織（DAO）としてコミュニティー主導で運用されており、MANA や LAND 等のアセットを保有するユーザーであれば誰でも DAO におけるガバナンス投票に参加することが可能です。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	アクシーインフィニティ（Axie Infinity）
ティッカーコード	AXS
暗号資産の単位	0.00000001 AXS
発行者	Sky Mavis PTE. LTD
発行主体概要	発行主体である Sky Mavis 社は、分散型アプリケーションやサービスを構築するテクノロジー企業として、情報技術、ブロックチェーン、ビデオゲームの分野に特化している。2019 年に設立され、本社はベトナムのホーチミン市に所在する。
発行方法	Ethereum ブロックチェーン上で発行
発行可能上限額	2.7 億 AXS
一般的な性格	アクシーインフィニティは、プレイヤーが所有する NFT であるアクシー（Axie）を用いてゲーム内で戦闘や冒険を行い、収益を得る Play2Earn のプロジェクトです。 プレイヤーはアクシーを繁殖させ、新しい外見やスキルを持つアクシーを生み出し、NFT マーケットでの売買も可能です。 また、当該暗号資産の保有者には、プラットフォームの運用に関するガバナンス投票への参加、ステーキングによる報酬の受領、ランドセールへの参加などの権利があります。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	イミュータブル（Immutable）
ティッカーコード	IMX
暗号資産の単位	0.00000001 IMX
発行者	Digital World NFTS Ltd.
発行主体概要	Immutable X 上のプラットフォーム通貨である IMX を発行した営利企業
発行方法	Ethereum ブロックチェーン上で発行
発行可能上限額	20.0 億 IMX
一般的な性格	イミュータブルは、主にゲーム・アート・エンターテイメントなどの分野での利用を目的とした暗号資産です。イーサリアムの Layer2 上に展開される当該暗号資産のプラットフォームを用いることで、NFT の大量発行や取引にかかる手数料の無料化等、高速な処理能力を用いたオンチェーンソリューションが利用可能です。 当該暗号資産のプラットフォームはゼロ知識証明技術と Layer2 技術を採用しており、イーサリアムのスケーラビリティ問題に対する解決策の一つとして、低コスト化・高速化・エネルギー消費の削減を実現しています。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	エルフトークン（ELF Token）
ティッカーコード	ELF
暗号資産の単位	0.00000001 ELF
発行者	株式会社 HashPalette
発行主体概要	株式会社 HashPalette は、マンガを中心とした電子書籍分野においてリードしている株式会社 Link-U と、ブロックチェーン関連分野で実績を有する株式会社 HashPort が共同で 2020 年 3 月 2 日にジョイントベンチャーとして設立された。
発行方法	IEO、Palette Chain 上で発行
発行可能上限額	10 億 ELF
一般的な性格	エルフトークン（ELF Token）は株式会社 HashPalette がリリース予定の NFT ファーミングゲームである「THE LAND エルフの森」（以下「THE LAND」）で利用される暗号資産であり、パレットチェーン上で発行される。 エルフトークン（ELF Token） は、大会等のイベント参加や、ゲームで獲得したアイテムを NFT 化した後に売却することで獲得することができる。 エルフトークン（ELF Token）を使用することで、プレイヤーはゲーム内の土地 NFT であるランドやアイテム NFT を購入することができる。また、 エルフトークン（ELF Token）を発行体が提供するサービス内でステーキング（トークンを一定期間預ける行為）することで、「THE LAND」をより快適に進めることができる特典機能が解放される。 ※ ステーキングは当社が提供するサービスではない。 株式会社 HashPalette はアプリ内課金で得た収益を原資にエルフトークン（ELF Token）を不定期に buy back（買い戻し）する予定。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Istanbul Byzantine Fault Tolerance Proof of Authority (IBFT PoA) を採用している。 Palette Chain のバリデーターになる為には 3 分の 2 以上のコンソーシアムメンバーによる承認と一定数以上の PLT の保有が必要。 ブロックを生成する際、バリデーターによる複数ラウンドの投票によってコンセンサスが達成される。生成されるブロックはブロック提案者と複数のバリデーターによって署名され真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用いている。また、記録者のネットワークへの参加は一定の条件を満たしている必要があり許可制である

	為、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保している。
記録者の信用力に関する説明	ネットワークの記録者になるには、一定量の PLT をステークする必要があり、コンソーシアムメンバーの 3 分の 2 以上の承認が必要で KYC/AML の調査も行われるため、悪意ある記録者が選出される可能性は低い。

暗号資産の名称	エイプコイン（ApeCoin）
ティッカーコード	APE
暗号資産の単位	0.00000001 APE
発行者	APE Foundation
発行主体概要	ApeCoin DAO の決定を管理するために存在する法人
発行方法	Ethereum ブロックチェーン上で発行
発行可能上限額	10.0 億 APE
一般的な性格	エイプコインは、「Bored Ape Yacht Club」と呼ばれる Yuga Labs 社が版権を持つ NFT が元になっており、「web3 の中心となる分散型コミュニティー」をサポートするためのプロジェクトである。当該暗号資産である APE はエコシステム内における決済、ゲーム、イベントや商取引などで利用される。 また、エイプコインは ApeCoin DAO と呼ばれるコミュニティーによって運営されており、APE は運営方針を決定する為の投票で使用するガバナンストークンとしての役割も持っている。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	チリーズ（Chiliz）
ティッカーコード	CHZ
暗号資産の単位	0.00000001 CHZ
発行者	HX Entertainment Ltd.
発行主体概要	発行主体である HX Entertainment 社は、ファントークンエコノミーを実現するアプリである Socios の運営に用いられる Chiliz ブロックチェーンプラットフォームを提供し、プラットフォームの基軸通貨として CHZ を発行している。
発行方法	Ethereum ブロックチェーン上で発行
発行可能上限額	88.9 億 CHZ
一般的な性格	チリーズは、プロサッカークラブだけでなく F1 や e スポーツなど様々なスポーツクラブと提携し、公式ファントークンを発行するプロジェクトである。 当該暗号資産である CHZ を用いてファントークンを購入することで、そのスポーツクラブが主催するイベントに参加できる。また、ガバナンス投票に参加することでクラブの経営に関わることができる。 チリーズは、ファンとクラブの交流を促進し、新たな信頼関係の構築を目指している。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	ダイ（Dai）
ティッカーコード	DAI
暗号資産の単位	0.00000001 DAI
発行者	なし
発行主体概要	なし
発行方法	Ethereum ブロックチェーン上で発行
発行可能上限額	53.5 億 DAI
一般的な性格	ダイは、イーサリアムブロックチェーン上で稼働する暗号資産である。 ETH をはじめとする様々な暗号資産を担保に 1 DAI = 1 米国ドルを目標値として、分散型自律組織体である MakerDAO が開発・運用を担うスマートコントラクトによって発行や価格調整が行われている。 当該暗号資産は、分散型アプリケーションにおける価値の保存や交換、投資、借り入れ、レンディングなど幅広いユースケースに対応している。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	レンダートークン（Render Token）
ティッカーコード	RNDR
暗号資産の単位	0.00000001 RNDR
発行者	Render Network Foundation
発行主体概要	Render Network Foundation は、2016 年に Jules Urbach 氏によって設立された、分散型 GPU レンダリングソリューションの提供を目指している企業である。
発行方法	Ethereum ブロックチェーン上で発行
発行可能上限額	5.4 億 RNDR
一般的な性格	レンダートークンは、レンダーネットワークという分散型のクラウドレンダリングサービスで利用される暗号資産である。 レンダーネットワークは、グラフィックや映像制作で必要になる GPU コンピューティングパワーを、利用者間で共有する事により収益化できるプラットフォームである。 当該暗号資産は、サービス利用時の支払いや、プロジェクトの運営方針に関するガバナンス投票に使用することができる。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	ザ・グラフ（The Graph）
ティッカーコード	GRT
暗号資産の単位	0.00000001 GRT
発行者	Graph Protocol, inc
発行主体概要	Graph Protocol, inc.は、Graph ネットワークの長期的な持続可能性を確保するために、エコシステムを開発及び成長させることを目的としている。
発行方法	Ethereum ブロックチェーン上で発行
発行可能上限額	107.9 億 GRT
一般的な性格	ザ・グラフは、分散型データ検索プロトコルである。分散型アプリケーション（DApps）や、スマートコントラクトの開発を簡単かつ効率的に行えるようにすることを目的としている。 また、当該暗号資産は開発者がチェーン上のデータを取得した際の手数料として使用されたり、保有者が当該暗号資産をステーキングすることで報酬を得たり、運用を行うためのガバナンス投票等にも使用することができる。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	アバランチ（Avalanche）
ティッカーコード	AVAX
暗号資産の単位	0.00000001 AVAX
発行者	AVA Labs,Inc.
発行主体概要	発行主体である Ava Labs は、パブリックブロックチェーンプロジェクトとして、スマートコントラクトを使用した分散ネットワークによって「金融のインターネットの構築」を実現することを目的とした米国ニューヨークに拠点を置く民間企業である。
発行方法	AVAX の発行上限は 720,000,000 AVAX と決まっており、2020 年 9 月 21 日のメインネットローンチ時に半数である 360,000,000 AVAX が発行された。残りの半数はステーキング報酬としてホワイトペーパーの供給関数に沿って発行される。
発行可能上限額	7.2 億 AVAX
一般的な性格	アバランチは、Proof of Stake（PoS）メカニズムを採用した独自のコンセンサスアルゴリズムを用いており、高いスケーラビリティとインターオペラビリティを兼ね備えている。また、イーサリアムとの互換性もあり、DApps との親和性が高いプラットフォームである。当該暗号資産は、アバランチネットワーク上のネイティブトークンであり、ステーキングやエコシステム内における手数料の支払い、カバナンス投票等に使用できる。
保有・移転記録の秘匿性	AVAX の保有・移転の記録はパブリックブロックチェーンを採用している為、全て公開されている。しかし、移転記録上のトランザクションやアドレスから個人を特定をすることはできない。
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Avalanche は X-Chain、C-Chain、P-Chain の 3 つのチェーンが独自コンセンサスアルゴリズムを使用して稼働しており、いずれもサブネットと呼ばれるグループに所属するバリデーターによって価値移転が記録される。 バリデーターとして価値移転記録に参加するためには最低 2,000 AVAX を Avalanche ネットワークへステークすることで信頼性を確保している。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証の仕組みに独自コンセンサス及び PoS を採用している。記録者が価値移転認証を引き受け、その価値移転を承認するかどうかを投票し、ネットワーク全体で合意の可能性が高いことが確認されると、価値移転を最終的なものとして価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	最低 2,000 AVAX を担保したバリデーターがそれぞれトランザクションを並列処理で承認作業を行い、確率的に結果が覆る事のない取引について承認を行う。AVAX の保有量が多いほどバリデーター者の影響力が上昇するため、記録者による悪意のある行動を抑制し信頼性を保つことができる。

記録者の信用力に関する説明	記録者には誰でもなることができ、広く分散している為、ネットワークに参加する個々の信用力ではなく全体の信用力を記述する。記録者の一部が結託をして悪意ある判断をする可能性は否定できないが、記録者として活動するためには担保として AVAX のステーキングが必要であり、攻撃することによって生じる損失を攻撃者が被ることになる。これによって記録者が悪意ある判断を行う合理的なインセンティブが発生しないように設計が行われている。

暗号資産の名称	ドージコイン（Dogecoin）
ティッカーコード	DOGE
暗号資産の単位	0.00000001 DOGE
発行者	なし
発行主体概要	不特定の保有・移転管理台帳記録者による発行プログラムの集団・共有管理する。
発行方法	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算及び価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産。
発行可能上限額	発行上限なし
一般的な性格	ドージコインは、インターネットミームとして知られる「ドージ（Doge）」の柴犬をモチーフとしたロゴを特徴とする暗号資産で、2013年にライトコインの技術をベースに開発された。 当該暗号資産は当初明確なビジョンや目的がないまま発行されたが、プロジェクトコミュニティーは徐々に拡大し、多数のインターネットショッピング、寄付等の決済手段の一つとして利用されている。
保有・移転記録の秘匿性	Scrypt アルゴリズムを用いたプルーフオブワーク
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of work コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の１つであり、一定の計算量を実現したことが確認できた記録者を管理者と認めることで分散台帳内の新規取引を記録者全員が承認する方法を採用している。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	リスク（Lisk）
ティッカーコード	LSK
暗号資産の単位	0.00000001 LSK
発行者	Onchain Foundation
発行主体概要	Lisk のソースコードの開発とメンテナンスを行っている
発行方法	Ethereum ブロックチェーン上で発行
発行可能上限額	4.0 億 LSK
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算及び価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	ジパングコインプラチナ（Zipangcoin Platinum）
ティッカーコード	ZPGPT
暗号資産の単位	0.000001 ZPGPT
発行者	三井物産デジタルコモディティーズ株式会社
発行主体概要	三井物産株式会社の 100%子会社であり、暗号資産発行事業を営むために設立された。
発行方法	会員受託分が、都度発行者より発行される
発行可能上限額	（ZPG、ZPGAG、ZPGPT 合わせて）390 億円相当量
一般的な性格	ジパングコインプラチナは、三井物産デジタルコモディティーズが発行する暗号資産である。プラチナ現物価格と概ね連動し、1 ZPGPT はプラチナ現物 1 グラムに相当する。価格形成および価値保全の仕組みから、プラチナ現物と同等の資産特性及び投資特性を持っている。 暗号資産として低コストでの小口決済が可能であり、信頼性と利便性の高い資産運用およびインフレヘッジとしても利用することができる。 なお、当該暗号資産はジパングコイン（ZPG）と同様に、株式会社 bitFlyer Blockchain が開発した独自プライベートブロックチェーン「Miyabi」を基盤システムに採用している。
保有・移転記録の秘匿性	保有・移転記録には、ブロックチェーン運営組織に参加を許可する限定メンバーのみアクセス可能であることから、当該メンバーのみブロックチェーン上の取引履歴を全て把握することができる。顧客情報などは暗号化して記録されるため、対外的な秘匿性は高い。
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	PBFT（Practical Byzantine Fault Tolerance：ビザンチン障害耐性アルゴリズム）を使用。コンセンサス・アルゴリズムは、記録者の全ノードのうち多数（23 以上）のノードの合意形成により、価値移転を記録、全ノードにてその合意に基づく分散台帳記録を保管。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。秘密鍵と公開鍵を用いた暗号化技術により、利用者本人が発信した移転データと特定し、記帳する。秘密鍵と公開鍵を用いた暗号化技術により、利用者本人が、利用者本人が保有する秘密鍵を用いて移転データに署名する。 記帳の際に、当該署名が本人の秘密鍵を用いて署名されたことが公開鍵にて確認されることで、利用者の真正性確認態勢を確保する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	価値移転のためのネットワークにつき、アクセスが許可されたもののみ参加できる構成とし、信頼性の担保を図る。
記録者の信用力に関する説明	ブロックチェーン運営組織における全構成員の合意により記録がなされることから、記録保持の仕組みそのものを記録者の信用の基礎としている。

暗号資産の名称	ジパングコインシルバー（Zipangcoin Silver）
ティッカーコード	ZPGAG
暗号資産の単位	0.000001 ZPGAG
発行者	三井物産デジタルコモディティーズ株式会社
発行主体概要	三井物産株式会社の 100%子会社であり、暗号資産発行事業を営むために設立された。
発行方法	会員受託分が、都度発行者より発行される
発行可能上限額	（ZPG、ZPGAG、ZPGPT 合わせて）390 億円相当量
一般的な性格	ジパングコインシルバーは、三井物産デジタルコモディティーズが発行する暗号資産である。銀現物価格と概ね連動し、1 ZPGAG は銀現物 1 グラムに相当する。価格形成および価値保全の仕組みから、銀現物と同等の資産特性及び投資特性を持っている。 暗号資産として低コストでの小口決済が可能であり、信頼性と利便性の高い資産運用およびインフレヘッジとしても利用することができる。 なお、当該暗号資産はジパングコイン（ZPG）と同様に、株式会社 bitFlyer Blockchain が開発した独自プライベートブロックチェーン「Miyabi」を基盤システムに採用している。
保有・移転記録の秘匿性	保有・移転記録には、ブロックチェーン運営組織に参加を許可する限定メンバーのみアクセス可能であることから、当該メンバーのみブロックチェーン上の取引履歴を全て把握することができる。顧客情報などは暗号化して記録されるため、対外的な秘匿性は高い。
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	PBFT（Practical Byzantine Fault Tolerance：ビザンチン障害耐性アルゴリズム）を使用。コンセンサス・アルゴリズムは、記録者の全ノードのうち多数（23 以上）のノードの合意形成により、価値移転を記録、全ノードにてその合意に基づく分散台帳記録を保管。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。秘密鍵と公開鍵を用いた暗号化技術により、利用者本人が発信した移転データと特定し、記帳する。秘密鍵と公開鍵を用いた暗号化技術により、利用者本人が、利用者本人が保有する秘密鍵を用いて移転データに署名する。 記帳の際に、当該署名が本人の秘密鍵を用いて署名されたことが公開鍵にて確認されることで、利用者の真正性確認態勢を確保する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	価値移転のためのネットワークにつき、アクセスが許可されたもののみ参加できる構成とし、信頼性の担保を図る。
記録者の信用力に関する説明	ブロックチェーン運営組織における全構成員の合意により記録がなされることから、記録保持の仕組みそのものを記録者の信用の基礎としている。

暗号資産の名称	マスクネットワーク（Mask Network）
ティッカーコード	MASK
暗号資産の単位	0.00000001 MASK
発行者	Sujitech Holding Ltd.
発行主体概要	2017 年に設立されたアメリカに本社を置く営利団体であり、 Dimension.im を設立した Suji Yan が CEO を務める。
発行方法	Ethereum ブロックチェーン上で発行
発行可能上限額	1.0 億 MASK
一般的な性格	分散型ネットワークである Mask Network のガバナンス用途のために発行された暗号資産。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	ポリゴンエコシステムトークン（Polygon Ecosystem Token）
ティッカーコード	POL
暗号資産の単位	0.00000001 POL
発行者	Polygon Labs UI (Cayman) Ltd.
発行主体概要	イーサリアムのスケーリング（利用拡大）に際し発生している問題の解決を目指すために開発等を行う団体。
発行方法	Ethereum ブロックチェーン上で発行される。
発行可能上限額	上限なし
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算及び価値記録を行う記録者への対価・代償やネットワークの運用や開発方針の合意を行うための投票などで使用される暗号資産
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多く長期間であるほどブロック生成（承認）の成功確率が上昇する承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者及び移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	ペペ（Pepe）
ティッカーコード	PEPE
暗号資産の単位	0.00000001 PEPE
発行者	あり
発行主体概要	匿名の発行者
発行方法	Ethereum ブロックチェーン上で発行される。
発行可能上限額	420.69 兆枚
一般的な性格	Ethereum ブロックチェーン上で発行された ERC-20 トークン
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式）の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほどブロック生成（承認）の成功確率が上昇する承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）及び記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。